

# 「秋の歯科イベント」に寄せて

桐生市歯科医師会

5

喫煙は健康を害するものとしてよく知られています。

「百善あって一利無し」。まさにその通りなのです。

タバコにはニコチン、タール、一酸化炭素など数々の有害成分が含まれ、お口の中の

組織や器官などに大き

## 喫煙とお口の健康

きの血管を細くさせ（収縮）、血液循環を悪くさせます。また、そのことにより、本来の免疫力や栄養供給力、

きに戻りにくくさせます。タバコは、人間の唾をつくる唾液腺や舌の表面の食べ物の味をつ

少なくなることによつて食べ物の味が分かりにくくなったり、虫歯になりやすくなつてしまふのです。

おかすばかりでなく、周囲の人や家族の健康に対しても害を及ぼします。口腔がん、肺がん、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、早産、低体重児出産など、全身にも

く悪影響を及ぼしま

す。

とくに歯周病と喫煙の関係は有名です。この有害成分により歯ぐ

酸素運搬力なども低下

します。そして、硬くな

歯ぐきは感染に対して弱くなり、健康な歯ぐ

かさどる味蓄（みらい）

などに対しても、唾を

作用があります。唾が

「口内炎がでやすい」「

「歯ぐきからの出血が多い」「口臭が気にな

ることが大切です。喫煙は自分の健康を

（「秋の歯科イベン

ト」が11月3日午前10

時から午後3時まで、桐生市保健福祉会館で行われます）